



定例活動報告

8月、9月、10月、11月

水質検査

測定地点	月日 天気 気温 項目	8/27	9/24	10/22	11/26
		天気	☀	☀	☁
気温		30°	27.1		16.5°
源流部	水温℃	18	18.2	源	17.3
	水深cm	15	16	流	10
	CODmg/l	2	6	ま	6
	pH	6.3	6.6	7	6.3
井頭橋	水温℃	19.1	18.6	り	17.1
	水深cm	30	29	へ	26
	CODmg/l	2	4	大	6
	pH	6.4	6.6	南	6.2
井頭と火の橋中間	水温℃	18.4	18.6	小	16.9
	水深cm	31	34	へ	22
	CODmg/l	2	4		6
	pH	6.4	6.7		6.5

※CODとは、水の汚れを示す指標で、測定値の2はきれい、4~6は少し汚れているということ。また、pHとは、酸性とアルカリ性を示す指数で、7は中性。7より大きいとアルカリ性、小さいと酸性。測定値 6.2~6.7 は、やや酸性ということ。

活動記録

9/15(金) “源流の森” 研究会
 16(土)] 泉新小「WE LOVE 白子川の会」川活動
 17(日)]
 24(日) 定例活動
 30(土) 源流まつり実行委員会②
 10/14(土) 源流まつり最終実行委員会
 22(日) 第17回源流まつり
 (雨天：大南小体育館)
 24(火) 放流アユの投網調査
 (宮本橋下で確認できず)
 31(火) TOTO 中間報告提出

白子川源流部の水量

白子川源流部の水量は 12 月に入っても減ることなく、今年は去年に比べ、水量は多くなっています。白子川に生息する生き物にとって水量は重要で、湧水量増加による水質の改善、魚たちの生活空間の確保、アオミドロ発生の抑制など効果は大きいです。

湧水量増加の決め手として、降水量があります。1年前と比較すると10月は去年の10倍、11月は去年の3倍と多くの降水がありました。源流部周辺の雨の一部はすぐ川に流れますが、多くの雨は地面にしみ込み地下を通して源流部に少しずつ湧き出しています。毎年、今年のように雨が多いと良いのですが、そうとは限りません。

現在、練馬周辺で湧水があるのは白子川だけで、井の頭池、善福寺池、三宝寺池などは湧水が涸れてしまい、井戸からくみ上げて水を供給しています。

この貴重な湧水を確保するためにも、武蔵野の原風景が残っている源流部周辺の木々や畑を大切に思い、雨水浸透柵設置の拡大などを進めて、練馬の財産を守っていききたいものです。

一緒に守りませんか？

毎月第4日曜日午後1時30分～

井頭橋集合（大泉井頭公園のマルバヤナギの横）
 (八本賢二)

11/ 5(日) 青少年育成大泉西地区
 「まちたんけん」で100名来訪
 12(日) 「めいゆう子どもまつり」に出席
 17(金) “源流の森” 研究会
 26(日) 定例活動(練馬まちづくりセンター
 「景観ウォッチング」で50名来訪)
 12/15(金) “源流の森” 研究会
 22(金) 会報52号発行
 24(日) 定例活動(予定)

※毎月、定例活動前日に運営会議